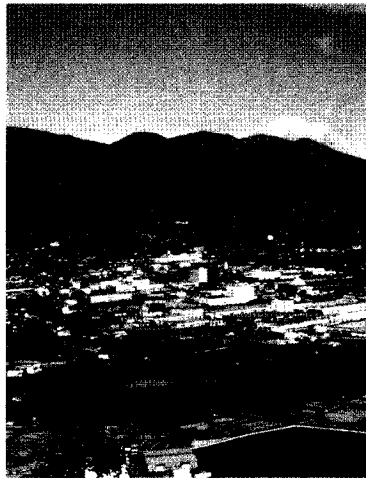


# 東部町文化協会報

## せせらぎ

第22号  
平成15年12月1日

発行/東部町文化協会(TEL.62-3700)  
印刷/東部プリント



これからの  
生涯学習のあり方  
東部町長 土屋哲男



道路の脇に植えられた樹木や花々、  
手入れされたプランターが並ぶ。町の  
美化にご協力下さっている方々がとて  
も多いことに感謝しながら毎日通る道  
がある。

素晴らしいガーデニングの知識と実  
践。これも生涯学習のひとつの形と考  
えます。

学んだことを社会に還元しようとな  
ることが、他の人との新しい交流を生  
み出す。

それが若い世代であればもつとよい。  
そこには新しい文化が存在していま  
す。その新旧の交流が、互いに教育し  
合い、理解し合い、共に育つ学習の形  
を作り上げる。

人は一人で生きられず、他人とのか  
わりの中で生きています。

学んだことが自己啓発のみにとどま  
らず周囲にいる多くの人達の役に立ち  
ともに満足感を得られる生涯学習にこ  
れから成長していくことを心より願っ  
てやみません。

古い文化を大切に、  
新しい文化の導入を  
東部町中央公民館長 柳澤英夫

文化協会会員が高齢化し、新入会員  
がなく、この先心配だという話を聞き  
ます。どうしたらよいでしょうか。

「いきいき生涯学習塾」で、学習され  
終了された皆さんが、グループで文化  
協会に加入されうれしく思います。この  
組織を今後も大切にしたいと思います。

書道、茶道、謡曲等歴史の古い文化の  
ものから、軽音楽、カラオケ、ダンス  
まで幅広い活動が行われているので、  
町民にとつては沢山の中から選択でき、  
参加できる機会が多いので有り難いこ  
とです。

今後は更に、青年や壮年の皆さんも、  
子どもさんも参加できるように、サー  
クルの創設、活動の工夫、配慮をして頂  
けると有り難いです。

今までのサークル  
を大切にしながら、  
新しい内容のサーク  
ルも立ち上げられな  
いでしょうか。例え  
ば、IT関係でホーム  
頁作り、動植物関係  
で野鳥観察・野菜栽  
培、自然科学関係で  
宇宙観察・趣味の数  
学、文学関係で古典  
鑑賞・哲学書の読み  
合わせ、言語会話関  
係で韓国語・中国語な  
どもどうでしょうか。



### 文化協会のあゆみ

- 平成14年 12月7日 東部町合唱祭
- 平成15年 1月5日 第11回新春書初め大会
- 2月9日 第11回東部町邦楽部会発表会
- 3月1日 川柳部会川柳展示会
- 14日 第8回書道部会会員展
- 16日 第24回東部町舞踊部会発表会
- 16日 第53回東部町美術部会会員展
- 30日 第23回琴伝流大正琴発表会
- 4月5日 謡曲部会 謡曲大会
- 12日 第5回東部町・大田区交流開基大会
- 13日 山びこ合唱団50周年・コールエコー15周年ジョイントコンサート
- 17日 文化協会総会
- 20日 第24回民謡部会発表会
- 24日 いきいき生涯学習塾開講式
- 26日 華道部会「小さな花展」
- 5月9日 第8回香東会書展
- 6月22日 第34回聖風流温習大会
- 7月6日 第11回東部町混声合唱団定期演奏会
- 20日 棋道部会第14回文化協会長杯囲碁大会
- 8月31日 第8回東部町カラオケ部会発表会
- 9月7日 静若流舞踊発表会
- 9日 絵画部会 まろにえ絵画展
- 10月3日 文化協会役員研修会
- 11日 第21回T.N.S.ジャズオーケストラ定期演奏会
- 15日 東部町美術部会テーマ展
- 31日 菊花部会 第33回菊花展
- 10月31日 11月2日 町総合文化フェスティバル
- 11月20日 写真部会 写団S.F.C第7回いちさなちいさな写真展
- 16日 第12回東部町短詩型文学祭
- 12月1日 「せせらぎ」22号発行

平成十五年度  
文化協会総会開催



四月十七日、中央公民館講堂にて、本年度文化協会総会が開催された。会場では、各部長が会費徴収や諸連絡にあたり、大勢の出席者がそろって総会が始まった。

総会としては初めての「功労者表彰」があり、規約第十八条により、本会の活動推進に貢献のあった九名の方々に表彰状が贈られ、会場から大拍手でお

平成15年度  
東部町文化協会功労者  
表彰受賞者名簿



祝いました。

来賓の土屋町長、柳橋議長さんからは、「来年四月の合併をみすえてますます文化活動の推進を」との御祝辞を頂いた。議事にはいり、長沢郁子さん(ダンス部会)の進行で、平成十四年度事業報告及び決算、平成十五年度事業計画及び予算の議案がスムーズに決まった。報告として、山岸一郎さん(書道部会、専任理事)から文化協会新役員(報告)があり、前年に引き続き三役と監事が承認されました。さらに新規加盟団体(十、グループ)の報告もあった。

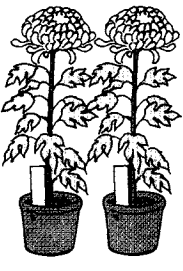
総会のあとは同じ会場で懇親会を開き、生ずしもはいったオードブルやビールでなごやかな会食で話し合いが盛り上がり、文化協会のスタートにふさわしい総会だった。

第33回 菊花展受賞者

受賞者のみなさんは次のとおりです

- |               |       |
|---------------|-------|
| 東部町長杯         | 依田 勲  |
| 東部町公民館長杯      | 披村 隆夫 |
| 東部町議会議長楯      | 小林 孝子 |
| JA信州うだ農業組合長杯  | 別府 俊勇 |
| 東部町長楯         | 春原 茂  |
| 東部町文化協会長楯     | 宮下 正之 |
| 東部町教育委員長杯     | 竹内 進  |
| 八十二銀行田中支店長杯   | 寺田 泰明 |
| 上田信用金庫東部町支店長杯 | 半田 栄廉 |
| 東部町商工会長杯      | 柳沢 育夫 |
| 東部町商工会長楯      | 堀 君代  |
| 菊花会会長杯        | 荒井 房子 |
| 菊花会会長楯        | 後藤 津小 |
| 優秀賞           | 祿津小学校 |

(※菊花会三役は受賞を辞退)



部 会 名	氏 名 (地区)
書 道	井 出 けい子 ( 県 )
書 道	長 岡 惇司 (大石)
棋 道	柳 沢 はまよ (東町)
川 柳	吉 田 亨 (白鳥台)
表 力	小 宮 詩子 (西入)
茶 陶	柳 具 善信 (加田)
	青 小 袈 袈 幸 (常井)
	寺 小 志 一 夫 (桜の)

第十二回 短詩型文学祭で  
入賞された皆さん

- ◆短歌の部
  - 町長賞 岩崎 キク(上田市)
  - 教育委員会賞 小河原ときは(海善寺)
  - 公民館長賞 飯高紀志子(祿津)
  - 文化協会長賞 柳澤 菊子(田中)
- ◆俳句の部
  - 町長賞 若林 敏子(滋野)
  - 教育委員会賞 太田 継子(祿津)
  - 公民館長賞 若林 泉(滋野)
  - 文化協会長賞 北沢 秀夫(常田)
- ◆川柳の部
  - 町長賞 野本 清魚(佐久市)
  - 教育委員会賞 西澤ひろ子(坂城町)
  - 公民館長賞 荒木 望岳(和)
  - 文化協会長賞 土屋 昭夫(新張)
- ◆現代詩の部
  - 町長賞 宮坂 春代(鞍掛)
  - 教育委員会賞 山崎明代子(上田市)
  - 公民館長賞 栗原 陽子(田中)
  - 文化協会長賞 村山 弘子(滋野)

# ブルーブック訪問

## レザークラフト からくさ会(手芸部会)

昭和六十一年度の町の教養講座に「レザークラフト(革工芸教室)」が誕生し、二年後から有志で「からくさ会」を結成し、今年は十四名が作品作りに取り組んでいます。

昨年九月に、からくさ会十五周年記念の作品展を、ギャラリー胡桃倶楽部で三日間開催し、大勢の方に見て頂きました。(十五年間に共に学んだ生徒は百人ほど)

小物から大型バッグまで、一枚の牛皮からすべて手作りのため、何カ月もかかる力作もありますが、世界にただ一つの誇りと楽しみで、コツコツと努



力しております。

原口区のボランティアグループのOさんや、高齢者大学のNさんは、ハサミケースなどを自ら材料をそろえて講習されており、まさに生涯学習の素晴らしい実践と思います。

(小林俊子記)

## 和ふじ会(舞踊部会)



九月十八日の夜、東深井公民館に同会をお訪ねしました。美空ひばりの愛恋歌を、練習中でした。現在の藤扇寿与秀先生にご指導いただくようになってから、十一年目になるそうです。前は大勢でしたが現在は七名で、月に二回夜八時から九時半まで練習して、あ

とは、先生を囲んで楽しいお茶のひとときもあります。

発表会は二月に舞初め、三月に舞踊部会の発表、九月にゆかたざらいがあり、みなさん発表会を目ざして、がんばられるそうです。会員のみなさんは、頭の体操や、ストレス解消にもなり、踊っている時は、無我の境地になり時間も忘れるほどのこと。いつまでも、若く美しくと、農繁期もがんばっているそうです。

## かぼちゃの会(文芸創作部会)

母親文庫OBで会を起こして以来、地域の民話や伝説を語り継いでいこう、心のこもった作品を子供たちに見せてあげたい、との熱い思いで地道な活動



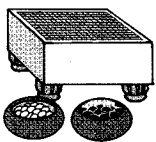
を続けている「かぼちゃの会」を訪ねました。大きな大きな紙芝居の色塗りに励んでいる皆さんの間をかわいの子供さんがこれ又元気に活動? していて、息の長さを再認識。この度は加沢区に伝わる「大きな石」を制作中でした。地域の方にお話を伺い、下絵を作り、拡大をする。それから色をのせて暖かい作品に仕上がります。一行程ずつの御苦労のあとがにじみ出る力作は、依頼があればどこにでも喜んで出向いて下さるとのこと。気軽にお願いしてみたい方の加入大歓迎との事です。

## 囲碁大会で入賞されたみなさん

第十四回「文化協会長杯」囲碁大会が、七月二十日東部町中央公民館に於いて、四十一名の参加により、開催されました。

対戦は、A B二組に分かれスイス方式五回戦で熱戦の結果、成績は、次の皆さんでした。

- |          |       |
|----------|-------|
| A組(三段以上) |       |
| 優勝       | 松村 勇  |
| 準優勝      | 山口 博義 |
| 三位       | 東城 武利 |
| B組(二段以下) |       |
| 優勝       | 葛城 正義 |
| 準優勝      | 山田 進  |
| 三位       | 横関 雅徳 |





# 東部町 平成15年度 総合文化フェスティバル

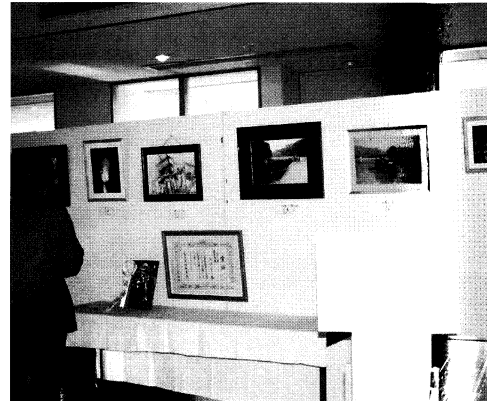
10月31日～11月2日 中央公民館



▲ターゲットをしばり、色、鮮やかに表現されています(絵画)



▲色とりどりの布が蘇るパッチワーク



▲力作ぞろいでしょう？(障害者コーナー)



▲これを着てどこへお出掛け？(編物)



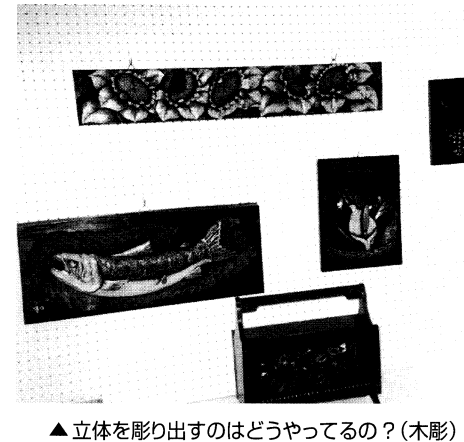
▲ワーきれい！感動の一言でした(華道)



▲結構なお点前でした(茶道)



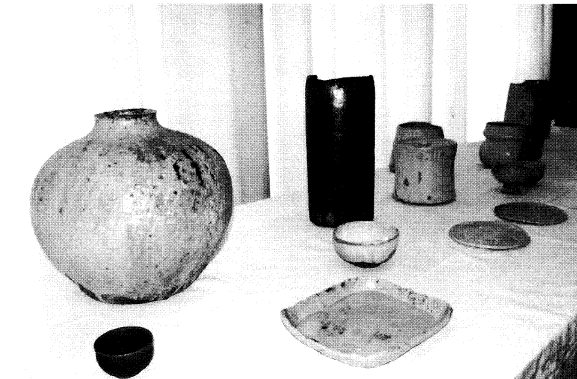
▲流れるような筆の動き  
見事な筆運び(書道)



▲立体を彫り出すのはどうやっての？(木彫)



▲小学生の絵画> 色彩豊かに描かれて人目を引いています



▲大事に使われて器が生きているですね(陶芸)



▲あなたの好みはどのバック？(レザークラフト)



▲墨の濃淡で風景、人物などを表わしてゆくの  
水墨画の魅力



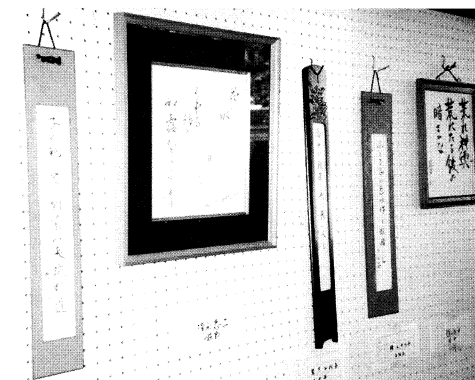
▲愛情を注いで作りました(人形)



▲プロ顔まけの出来ばえ！(藤手芸)



▲触れてみたくなる作品の数々(パンフラワー)



▲創作する時間をつくり出す事って大切ですね！(文芸創作)



▲草木染めの和紙から生まれました(ちぎり絵)



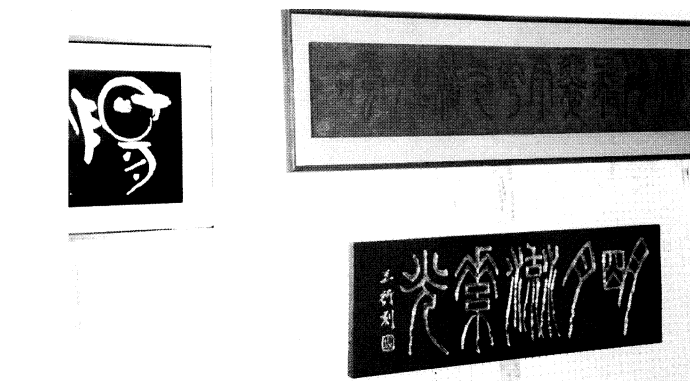
▲写真の撮影は一瞬のひらめきが勝負です！



▲今年も見事に咲きました



▲筆やペンを使わず、押葉でできています(おし花)



▲うーん おみごと！(てん刻)



▲俳画的な掛軸も、また良いものだ

## ムーミン(合唱部会)

和児童館「のびのびっこ広場」で出会った歌の好きなお母さんが中心となり、平成十三年四月に発足しました。子育てしながら歌いたいという想いから、練習も午前十時から午後一時の昼間の練習で、子どもの長期休業の時は基本的に休みださうです。練習は文化会館練習室で、指導は成



澤尚美先生、代表は原沢美香さんです。保育園のお誕生会で、鈴、タンバリン持参でペープサートしながら歌ったり、児童館で手遊びしながら歌ったりと活躍されています。今年より文化協会へ加入し、十二月の町合唱祭に向けて練習にも力が入ります。現在、団員は三十名で、マイペースで長く歌っていききたいそうです。

## 東部篆刻文字(書道部会)

刻字会は、生涯学習OBで発足し、三年になります。男性会員九名。月一回の例会。九月三日夜、中央公民館でこの日は、全員出席の例会を訪問しました。

会員は、自選課題の作品原稿を持ちより、依田行舟先生が添削し、批評や説明も興味深いものでした。展示品もみな力作揃い!

刻字の魅力について、会長の船田貴久夫さんは「好きな漢詩を中国の古い文字を使って板に刻みこみ、のみの力強い線を生かした小篆文字を作品にするのが楽しみです。」と話され、書道



展では多数が入選、入賞したそうです。また会員もそれぞれ自分の作品を家に飾ったり、贈物にして楽しんでいっている事でした。



## さくら会(人形部会)

高齢者大学受講生で発足した会は、三年になり、会員は八名。月一回の例会は中央公民館で、講師は高橋節先生とのことです。

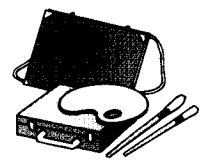
さくら人形、市松人形、創作人形、押絵等の制作活動をしております。八月の例会を訪ねました。この日は、発砲スチロールの球に紙粘土をはり、創作人形を作ってる人やさくら人形、男の市松人形の衣装を仕立てている人等。会長の山浦安子さんは「昔着た着物を人形に着せれば思い出が残り、孫の入



学等祝い事に贈物にするのも楽しみです。」と話され、先生も「人形作りは、きれいな気持で作らないと、作者の性格が人形に現れます。」と、にこやかに話されたのが印象に残りました。



# 年輪を重ねて



## 東部町美術会

荻原 芳雄

東部町美術会として継承されてから今年で五十二年になります。平成十二年には発足五十周年の記念事業として、記念誌の発刊、記念展、記念式典等盛大に実施したところであります。発足当時、会員数は十五名位で水彩画、油絵のほか彫刻等いろいろ勉強していましたが次第に水彩画が主流になり現在では油絵が二、三名で全て水彩画であります。

物の豊かさから心の豊かさが求められる時代とともに町の生涯学習塾であります絵画教室の開校とともに絵画人口も急激に増加し、現在、会員数四十名ほどになっております。まず楽しく描くことを目的に毎月二回の例会をもって勉強を続けております。ただ会員の高齢化が最大の悩みであります、我々の成すべきことと言えば描くことであり、そしてお互い同じ目的を持って作品にとりくむ場こそ意義深いものであり、今後も益々技術錬磨に精進し絵画の発展のため、そして地域の芸術文化の向上に寄与することを願うものであります。

## 山びこ合唱団

黒柳 隆次

山びこ合唱団が昭和二十八年に発足して五十年の歳月が流れました。全国青年祭に二度入賞したり、テレビ出演等々、華やかな時期もありましたが、時代は移り趣味も多様化し経済の高度成長に伴い、若者は都会に流れ女性は結婚して去り、男性だけの合唱団となり、何度か崩壊の危機を白石先生の音楽に対する深い愛と情熱と団員の強い絆とで乗り越え、コールエコーの御協

力をいただき、五十周年のジョイントコンサートを盛会に開催することが出来、大きな感動を覚えました。私も四十七年間歌い続けて、コーラスは今や生活の一部として位置付けられ、心の青春の源でもあります。歌を通して、かけがえのない友と出会い、情操を育み、豊かな人間性を追求する貴重な時間でもあります。先生や仲間にて育て生かされて生きていることに幸を感じ、今自分に出来ることは限られていますが、歌声が明日への希望の灯をともし熱源になることを願って…。



## 彫刻部会

今喰 和夫

部会発足から今年で三十年、現在、グループ数五、会員二十三名、各グループ二回ずつ、主に、実習室でやって



いる。(昨年、六名ほど健康上の理由などで退会したので、すこし寂しい。)木彫の醍醐味は、自分の頭で作品の形を考え、絵を描き、無心になって彫り、そして完成させた時の満足感と感動にある。それに、お茶の時など、政治、環境問題から漬物の話まで、談義がはずみ、お互い良い勉強になっている。今年も六月に、欄間彫刻の「井波」に研修旅行に行き、その緻密で壮麗な作品を見て圧倒された。近年、人は利便性や、安価を求めるあまり、手仕事で物をつくる事を忘れ、暮しの中に木製品のある環境を、ともすれば軽視している状況は憂慮に堪えない。人は、木の物に接していると落着き、やさしくなれると思う。八十五年の歴史あるこの地方の木彫「農民美術」の良さを、より多くの人達と努力して、是非残していきたいと思う。

## 手をつなごう 未来に向かって

あと3か月、町も、村も市制へと、うつり変ってゆくのです。

ふる里の川や山や林はそのままですが、経済活動、流通関係、人々の往来など、これまで以上に変化に富んだ、市が出来るものと期待し、またそのようになることを千曲川の両岸に住んでいる人には望みをかけているものと思います。

農作業で足腰の弱くなった人は、温泉で暖をとって、診療を受け、回復期の人は25mプールで体を鍛練し、時には4つある温泉を渡り歩くことも、してみたいものです。

のべ人1,800人いる現在の文化協会活動も更に盛んになるものと思います。

みんなで、それぞれ自分の得意とする分野で活躍されることを期待しています。



明神池



明神館



温泉診療所

## 文化の発進 “サンテラス”から



東部町文化会館（サンテラスホール）は、芸術・文化の拠点として多くの町民の期待に応え、平成三年にオープンいたしました。開館以来十二年が経過し、文化協会部会（グループ）発表会をはじめ、自主文化事業、ピアノ発表会、音楽会、講演会、映画会等多くの催物に利用されてきました。利用者においても年々増加しており、会館がオープンした平成三年度は、四万一千九十五名の利用でしたが、平成十四年度では十萬八千六十名と二・六倍の利用率となり、多くの町民の皆さまに更には県内各地区の小、中、高校生の皆さまにまで利用して頂きました。

○平成三年三月三日文化会館オープン。  
開館記念事業として二十二の催物を開催。

○平成四年 町合唱祭・邦楽・民謡・舞踊部会の発表会を開催。

○平成六年 オペラ事件簿・シャープス&フラッツコンサートをこの年より五回シリーズで開催。

○平成七年 サンテラスミュージックホリデー（音楽部会発表会）開催。

○平成八年 とうぶ第九を歌う会コンサート開催。

○平成九年 おらほの先生たち展開催。

○平成十二年 町出身音楽家による演奏会開催。

○平成十三年 オペラティックコンサート「澤畑恵美・高野二郎と歌う名曲集」を一般公募の皆さんの出演により開催。

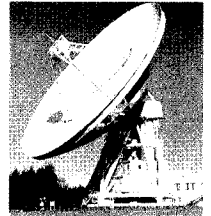
■インフォメーション■

○東部町合唱祭  
十二月六日（土）午後六時三十分～平成十六年

○第十二回邦楽部会発表会  
二月八日（日）午後一時～

○第二十五回舞踊部会発表会  
三月十四日（日）午前十時～

## 五感の世界から無感の世界へ



十月三日秋晴れの澄み渡った空の下、十数人の役員の方々と一緒に野辺山高原の国立天文観測施設を見学に行きました。

現在の天文観測の主流は光の世界から電波の世界へと移項しているようです。

私達が構内に入っても、ただ大きな楕円をした円板が（直径45m）轟音とともに地球の自転とは反対方向に二次元の世界から一次元の世界に向かって行っているの、そこには星をみるという意識で行っても全く無駄ということを悟らされました。私達には五感に感じる世界からは遠く離れた電波とコンピュータの解析によつてのみ解る、世界なのです。遠く離れた星や銀河から来る目に見えない電波の世界へとその装置の勇大さに接し驚きました。

現代科学の一端にふれたようにも思い帰路に於いたのです。（保科）

## 編集後記

突然の編集の仕事にかかわり、大変とまどいました。まずはどのような順序で組み立てたらよいか、写真をどのように配置するのかなど、四人の人の献身的な努力によつて出来上がりしました。はじめての仕事ゆえ、いろいろの不備な点があるうかと思いますが、お許し下さい。

保科 清  
深井 佐代子  
堀井 悦子  
山浦 桂子  
堀口 睦美